

令和5年度 福島中学校 シラバス

学年	2	教科	美術	担当	伊藤飛香	時数	35
----	---	----	----	----	------	----	----

◆教科の目標

基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これからの生活で活用して問題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育み、美術を主体的に生活や学習に生かそうとする力を育む。

◆評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能 【知】	思考・判断・表現 【思】	主体的に学習に取り組む態度 【主】
趣旨	感性や想像力を働かせ、自分の見方や考え方、感じ方によって、美術と社会の関係、そこに機能する美術の役割について理解できる。また、表現の為に必要な知識や技術を習得し、効果を考え使用できる。	感性や美的感覚を働かせて、創造する事の楽しさや深さを味わいながら、作品と自身、機能と美しさの調和、社会等との関わりについて深く考えることができる。また、作品製作を通して、問題意識を持ち、表現方法を選択、工夫するなど、自己の課題に柔軟に対応しながら、表現することができる。	授業の内容を理解し、創造する事の楽しさや対象の美しさ、美術の持つよさに気付きながら、よりよい自己表現に向けて深く考え、粘り強く制作しようとしている。また、美術を通して芸術文化に親しむ事が出来るよう主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に参加し多面的に美術を捉え、取り組もうとしている。

◆年間指導計画

月	領域	単 元 名 【 時 間 】	学習内容	観点別評価の規準	評価方法
4月	絵画	「様々な描き方」 5時間	<ul style="list-style-type: none"> モダンテクニック基礎 モダンテクニックの8種類の技法を学び、絵の具を使った新しい表現方法を体験する。 	【知】(知識・技能)「何を理解しているか、何ができるか」 【思】(思考・判断・表現)「理解していること・できることをどう使うか」 【主】(主体的に学習に取り組む態度)「粘り強い取組を行おうとしている」「自らの学習を調整しようとする」態度 【知】 様々な画材を使いながら、新しい技法を学び、その特徴を理解している。モダンテクニックを使った歴史上の作品や作家について学び理解している。 【思】 新しく学んだ技法を効果的に使う工夫をしたり、タイトルを考えたりしている。 【主】 色を使った制作の楽しさや美しさを味わいながら制作に主体的に取り組んでいる。	【知】テスト、ワークシート、提出作品 【思】観察、ワークシート提出作品 【主】観察、ワークシート提出作品
5月		「様々な描き方」 3時間	<ul style="list-style-type: none"> モダンテクニック応用 A 基礎で習得した技法を使って自由に絵を描くことで効果や表現の可能性を理解する。 学んだ技法のうち3つを選び自由に表現する。 	【知】 様々な画材を経験することで、画材の持つ表現の可能性を理解している。 【思】 経験した技法をイメージや目的に沿って、効果を考え意図的に表現に生かしている。 【主】 各画材を使い主体的に取り組もうとしている。	
6月		「様々な描き方」 4時間	<ul style="list-style-type: none"> モダンテクニック応用 B コラージュ 基礎で習得した技法で使って自由に絵を描いたり、「モダンテクニック応用 A」の作品を切り貼りし、構成や色彩等を工夫しながらコラージュの制作をする。 鑑賞会 	【知】 様々な画材を経験することで、画材の持つ表現の可能性を理解している。 【思】 経験した技法をイメージや目的に沿って効果を考え、特徴を生かし表現している。 【主】 試行錯誤しながら、粘り強く制作に取り組む、よい作品を完成させようとしている。	
8月	デザイン	「夏休み自宅課題」	<ul style="list-style-type: none"> (夏休み自宅課題) ポスター 『薬物乱用防止』、『明るい選挙』の二つの社会的なテーマから1つを選び、テーマを考え、既習の「色の知識」や「レタリング」などの知識や技術を生かしポスターを制作する。 	【知】 選択したテーマと社会と抱える問題を関係を考えながら、表現の主題を決定している。 【思】 表現意図に応じて効果を考え表現方法を選択できる。 【思】 メッセージ性を効果的に表現している。 【主】 よりよい表現を目指し作品を完成させようとしている。	【知】提出作品 【思】提出作品 【主】提出作品
9月～12月	デザイン、立体	「木彫りのレリーフ」 14時間	<ul style="list-style-type: none"> 木彫り 日本の伝統的な木彫りの技法を学びながら、実際に自分の生活の中で使用する作品をデザインし、イメージしたものを半立体的に把握しながらイメージを造形化する力を養う。 ・アイデアスケッチ(4時間) ・彫刻(9時間) ・鑑賞会(1時間) 	【知】 テーマをもとに半立体に表現を置き換える、木彫りの技術を踏まえながら取り組んでいる。 日本の伝統的な木材の建造物や世界の建造物について学び、理解をしている。 【思】 自分のイメージをもとに空間的造形感覚を養い、造形的な意識の拡張を身につけている。 【主】 石の素材に向き合いながら表現を具体化するために粘り強く取り組んでいる。	【知】テスト、提出作品、ワークシート 【思】観察、提出作品 【主】観察、提出作品
1月～3月	デザイン	「顔を平面でとらえる」 9時間	<ul style="list-style-type: none"> 平面構成 顔の平面的なデザイン デザインしたい人の顔を選び、本来、立体的な顔を平面的にデザインし、既習の色彩の知識を生かし、色を工夫しながら着彩する。 ・アイデアスケッチ(1時間) ・トレース(2時間) ・着彩(5時間) ・鑑賞(1時間) 	【知】 テーマをもとに三次元から二次元に表現を置き換える技術を踏まえながら取り組んでいる。 現代アートやその時代に生きた作家について学び、理解をしている。 【知】 既習の色彩の知識を使い、効果的に表現ができている。 【思】 構成や色調等の創意工夫をしている。 【主】 その表現に理由等を持ち、主体的に取り組んでいる。	【知】テスト、提出作品 【思】観察、提出作品 【主】観察、提出作品